

1. 安全上の御注意

お客様や他人への危害や財産への損害を未然に防ぐために、安全上のご注意を必ずお読みになり、正しくご使用ください。この章に記載されている注意事項は、安全に関する重要な内容です。内容をよく理解してから本文をお読みください。

●表示マークについて



警告

人が死亡または重傷、財産への損害を与える恐れがあります。



注意

人が怪我または製品に損害を与える恐れがあります。



警告

■ 薪は、しっかりと乾燥させたものを使用してください。

■ 塩水や海水に浸かった流木、ベンキ、薬品、接着剤など科学処理された木材、ガソリン、オイル、灯油、プラスチック、ビニール、紙類、生ゴミは絶対に燃やさないでください。有機物質の発生、及び、本体や煙突の変形、破損、そして火災の原因となります。

■ ストープ、煙突の周囲には、紙、衣類、洗濯物などの可燃物や、ライター、スプレー缶など、引火の恐れがあるものは置かないでください。火災の原因となります。

■ 技術修理者以外の方は、本体や煙突の分解・修理を行わないでください。故障と思われる時は販売店にご相談下さい。

■ 事故防止の為に、ご就寝やお出かけの際には、全てのドアが完全に閉まっているか確認してください。また、周囲に燃えやすいものが無いことをご確認ください。

■ 薪の入れ過ぎに注意してください。燃焼され過ぎた状態が続くと、本体や煙突が破損する恐れがあります。破損をしなくても劣化が早まりますので、燃焼空気の調整をして、温度を250℃前後で保ってください。

■ 灰受けドアを開けたまま使用しないでください。空気が調節できずに過燃焼となり、本体の破損や火災の原因となります。

■ 灰の処理は、火が完全に鎮火したことをご確認の上、不燃性の灰入れバケツに入れフタをし、不燃の床、そして可燃物の無い場所に保管してください。3日以上経過してから、冷えていることを確かめて処理してください。可燃性のある床や場所に保管しますと火災の原因となります。

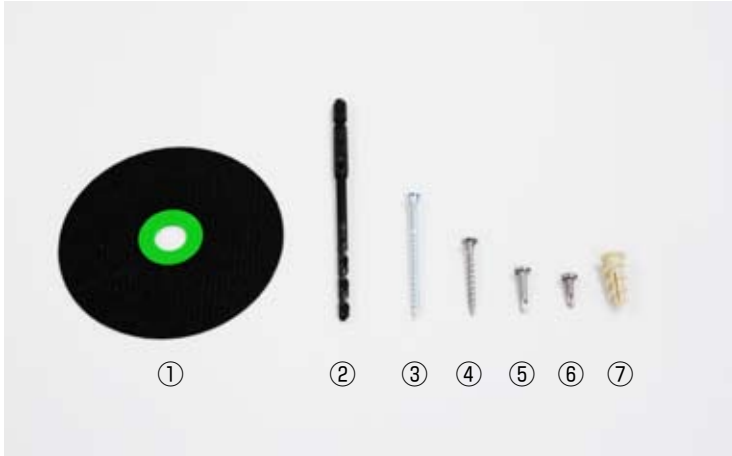
■ 万が一煙突火災が発生した場合には、速やかに各ドア及び空気調整レバーを閉じて屋外へ避難し、消防署に連絡してください。後に必ず専門業者に点検を依頼してください。

■ 大きな地震や落雷があった場合、破損や変形を生じている可能性があります。ご使用前に本体や煙突の点検を必ず行ってください。異常が見つかった場合は、ご使用にならずお買い求めの販売店までご相談ください。

注意

- ストープの使用方法については、付属の取扱説明書をお読みください。
- ご使用中は本体や煙突が非常に高温になりますので、火傷には十分御注意ください。
- ドアの開閉や薪の投入など、燃焼中に本体の操作を行う場合は、保護手袋を必ず着用の上行ってください。
- ご使用中に各ドアを開けたまま本体のそばから離れないでください。火の粉が飛び恐れや、薪が転がり落ちてくる危険性がありますので、必ず扉が閉まっていることを確認してください。
- 灰の処理は、ストーブ本体が冷えている状態で行ってください。火傷の原因となります。
- 定期的に本体や煙突のメンテナンスを行ってください。使用しているうちにススが溜まり、それが多くなると、引火して煙道火災などの事故が起こる可能性があります。
少なくとも1年に1回はメンテナンスを行ってください。
- ストープを焚き始める前には、必ず慣らし炊きを行ってください。
初めから高温で使用してしまうと、破損の原因となります。
- 焚きはじめの数回は、お部屋を換気しながら行ってください。本体と煙突に塗られている塗料が熱せられ、煙とともに臭いが発生します。
- 非常時に備え、消火器や煙感知器を設置することをお勧めします。
- お子様をストーブに近づけないでください。火傷や怪我の危険があります。あらかじめ、薪ストーブ用ゲージを設けることをお勧めします。
- ご使用中、万が一火傷を負った場合は、応急処置として、すぐに患部を流水にて15分以上冷やしてください。
なおその際、強い水圧は当てないでください。

2. 必要工具類



●名称

- ①切断砥石
- ②ドリル 4mm
(ステンレス 鉄鋼用)
- ③コーススレッド W65
- ④コーススレッド W35
- ⑤タッピングビス 16mm
(外部：ステンレス 内部：鉄)
- ⑥タッピングビス 13mm
(外部：ステンレス 内部：鉄)
- ⑦ボードアンカー



- ⑧水平器
- ⑨メジャー
- ⑩防水テープ
- ⑪下振り
- ⑫ハンマー
- ⑬つかみ
- ⑭ヘラ
- ⑮プラスドライバー
- ⑯マイナスドライバー
- ⑰モンキ



3. ストープと煙突との組み合わせ

■S煙突使用の場合

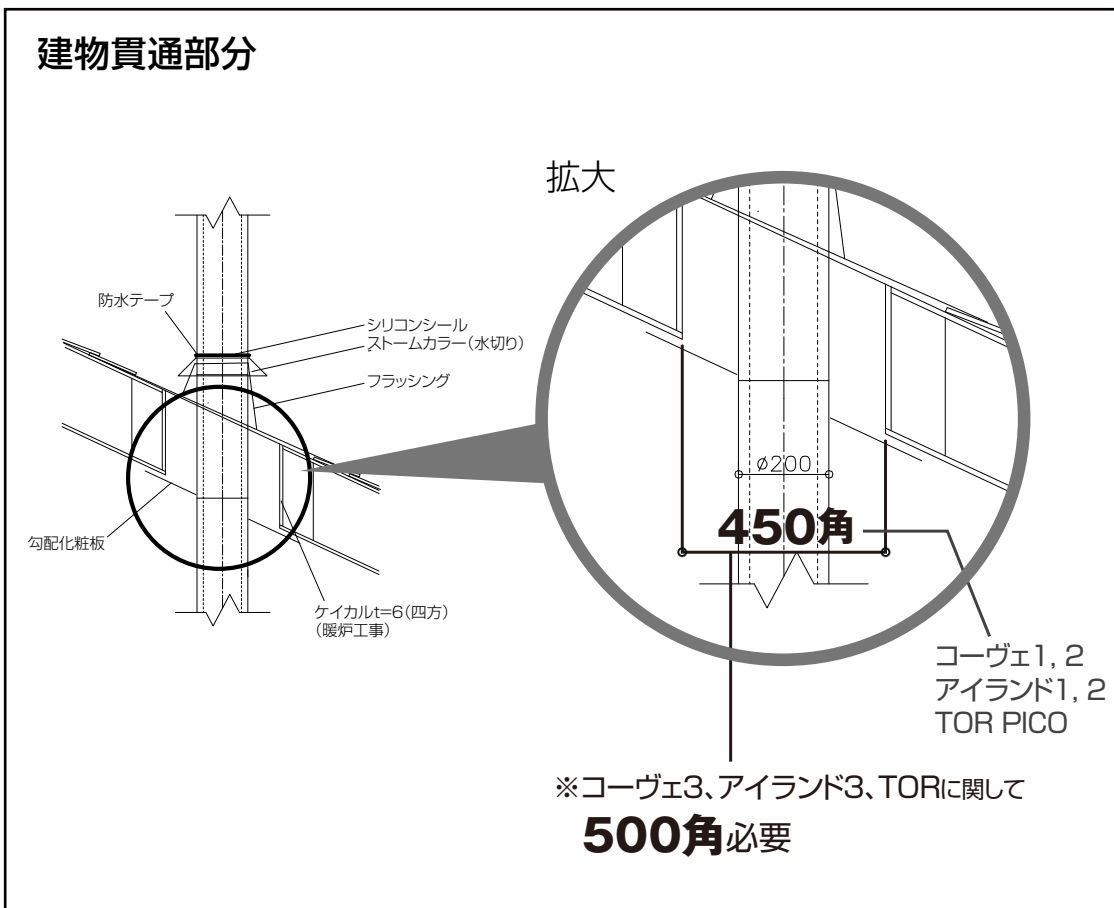
- ・ADコーヴェ 1 (HI-COV.01SS-MB)
- ・ADコーヴェ 2 (HI-COV.02SS-MB)
- ・アイランド I -HL (HI-ISLO1HL)
- ・アイランド II -HL (HI-ISLO2HL)
- ・アイランドクック (HI-CISLO2HL)
- ・カントリー4 (HI-CO4R)
- ・カントリー6 (HI-CO6R)
- ・カントリー8 (HI-CO8R)
- ・AD TOR PICO (HI-TOR009PICO)
- ・イソッタクック-16w (HI-7119110)
- ・イセッタクック-11w (HI-7119010)
- ・C-Six (HI-CSIX-MB)
- ・ステファニークック ボルデーレド (HI-7113430)
- ・ステファニークック ペルガメナ (HI-7113438)
- ・ファーロクック (HI-1311552)

■M煙突使用の場合

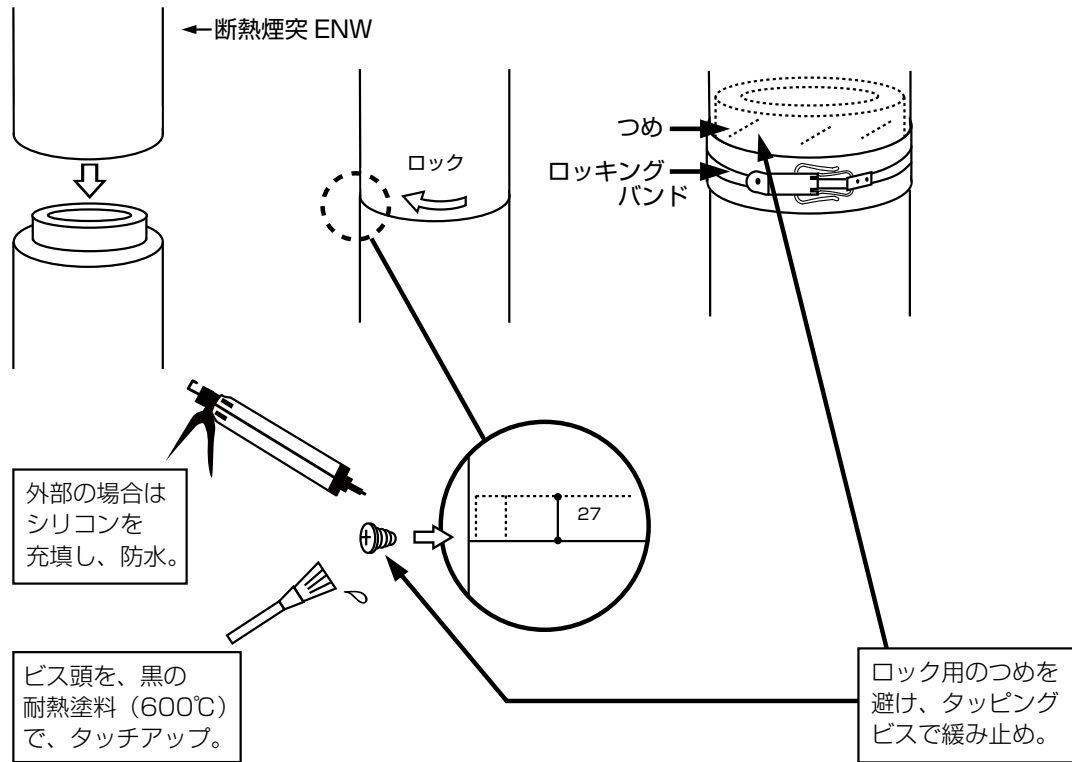
- ・ADコーヴェ 3 (HI-COV.03SS-MB)
- ・アイランド III -HL (HI-ISLO3HL)
- ・AD TOR (HI-TOR009)
- ・インファイヤー7 43 (HI-47M74B3B)
- ・インファイヤースコープ
(右開口：HI-47M75BSD)
(左開口：HI-47M75BSG)
- ・インファイヤープリズマ (HI-47740P13)
- ・インファイヤーフェゴ (HI-47M9374F)

■L煙突使用の場合(特注)

- ・フェニックスグリーン85
- ・フェニックスグリーン95
- ・フェニックスグリーン120

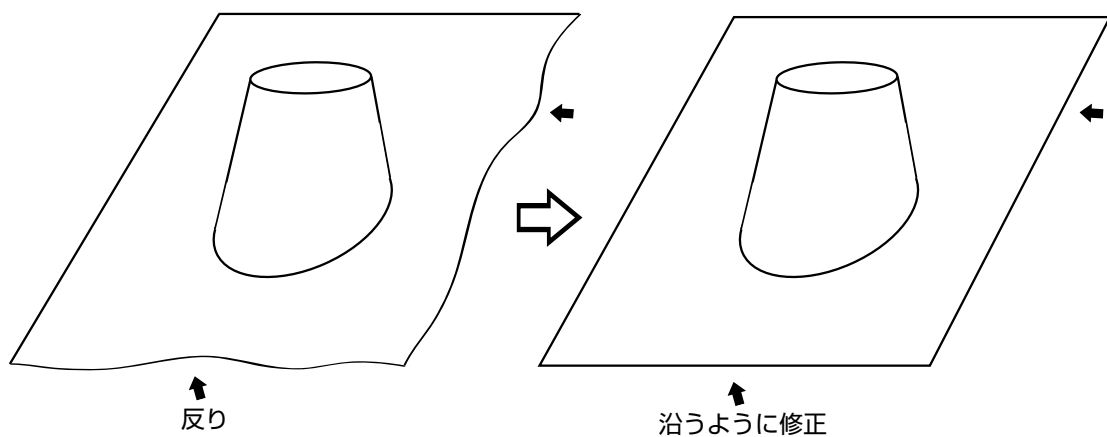


4. 断熱煙突の接続



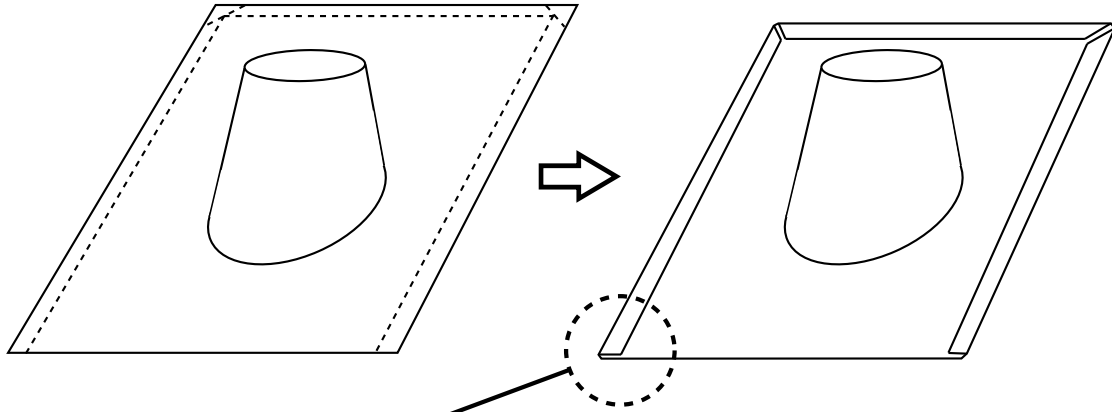
5. フラッシングの反りの修正

納品時、多少の反りがあるため、野地板にしっかりと沿うように、反りを直して下さい。

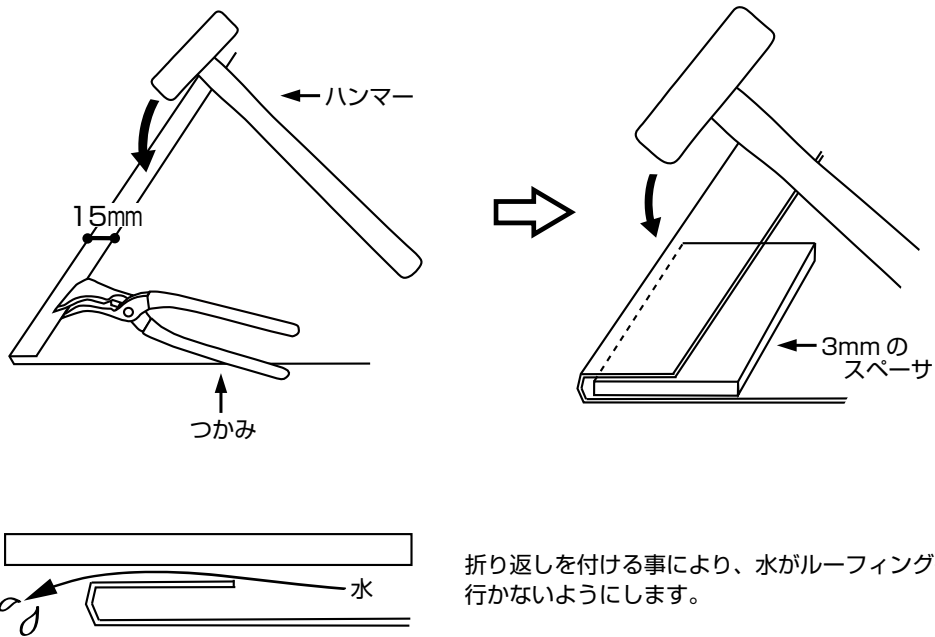


6. フラッシングの加工

屋根材によっては3方を折り返しをつける



折り返しの付け方



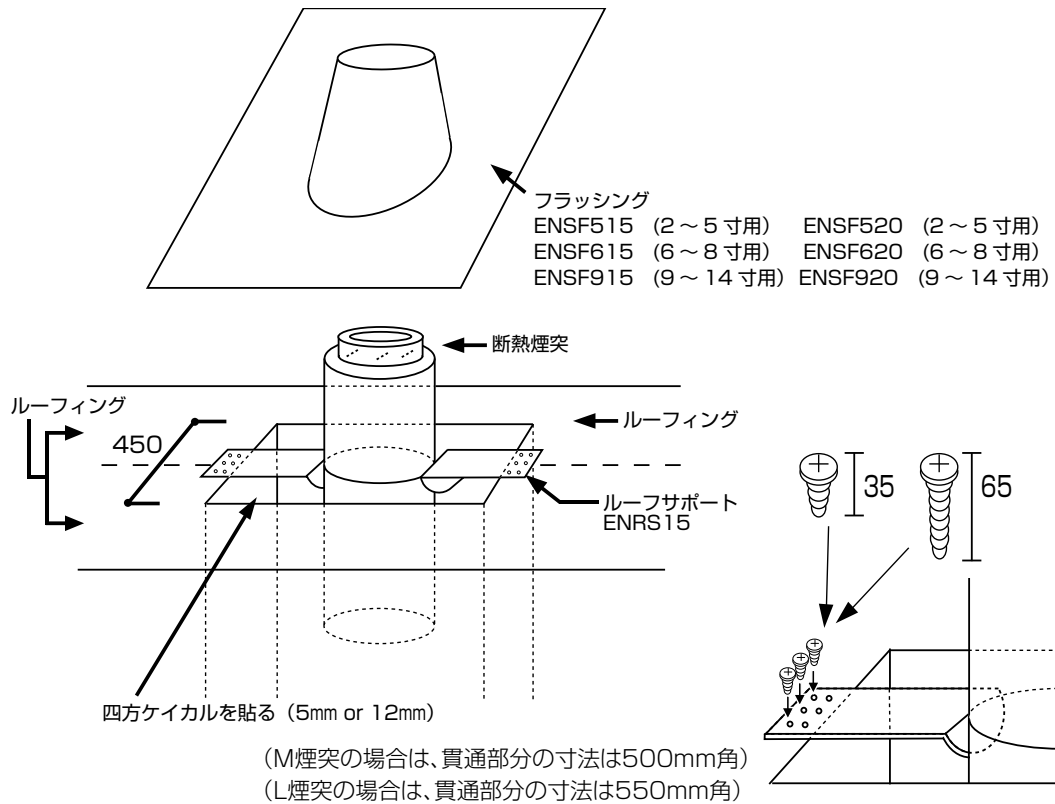
折り返しを付ける事により、水がルーフィングへ行かないようにします。

屋根材

アスファルトシングル
コロニアル
ガルバリウム

※硬い屋根材、フラッシングの折返しのふくらみが原因で、屋根材が割れる恐れがある場合は折返しをつけないでください。

7. 屋根へ煙突の固定



8. フラッシングの固定

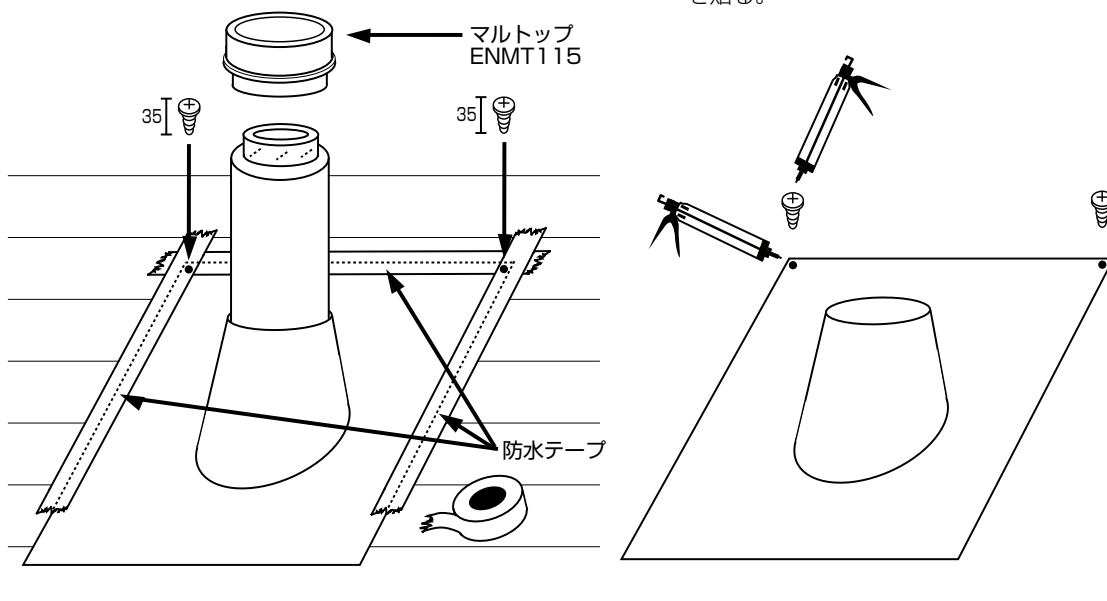


注意

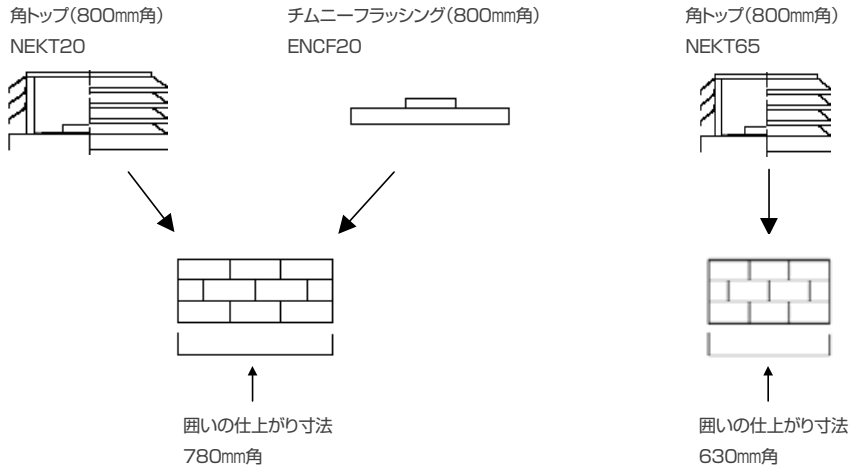
防水テープがしっかりとなじむように
 ハンマーを使い、防水テープとルーフイング
 をなじませる。水漏れの原因になりま

フラッシングの固定

フラッシングへタッピングビス等で下穴を開け、下穴へシリコンを充填し35MMのビスを打ち、さらにビス頭が完全に隠れるまで、シリコンを充填。その後、防水テープを貼る。



11. 角トップ チムニーフラッシング (囲い寸法)

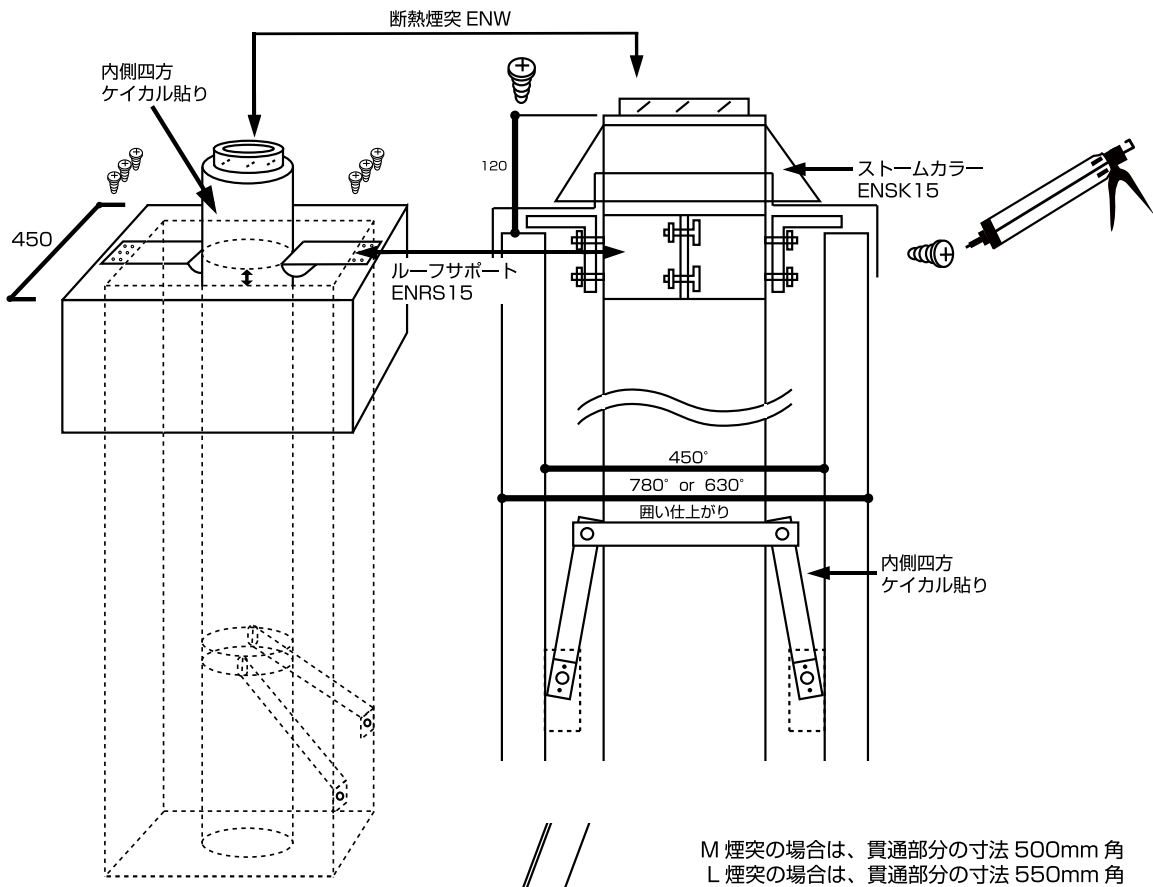


注意


建築工事としてご用意いただく囲いの寸法

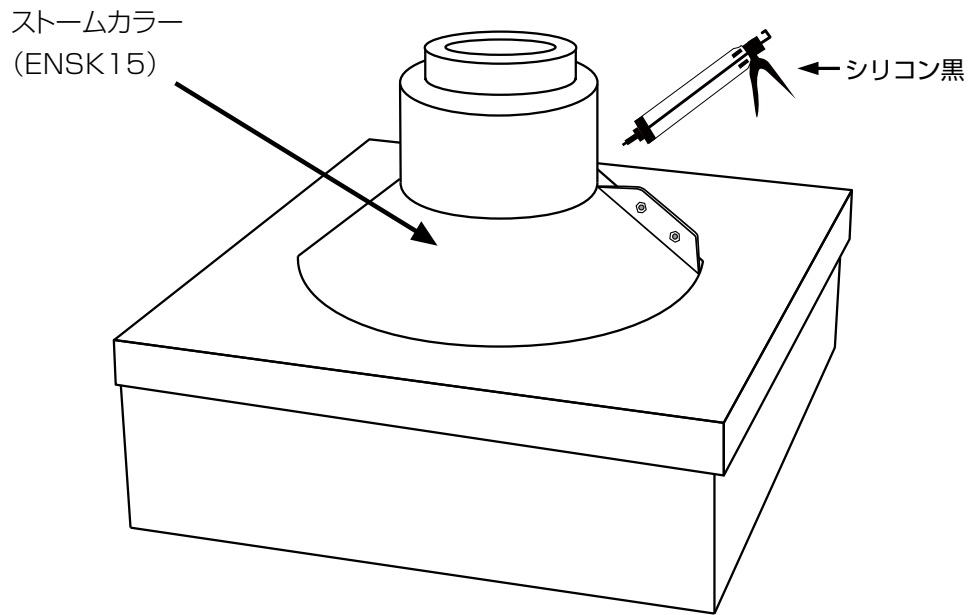
- 800角の角トップ、チムニーフラッシングをご使用の場合
囲いの寸法は20mm小さい780mm(仕上)角で作製
- 650角の角トップをご使用の場合
囲いの寸法は20mm小さい630mm(仕上)角で作製

■S煙突の場合



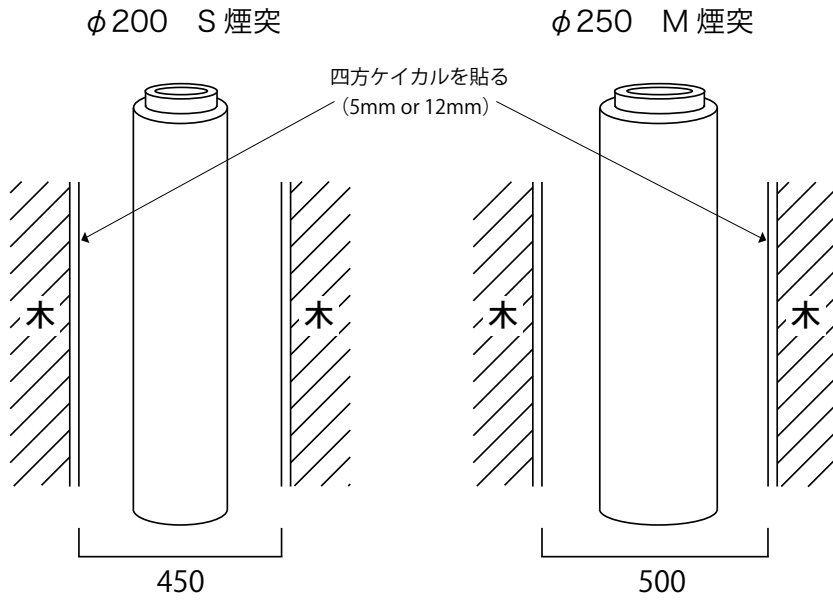
12. チムニーフラッシングとストーブカラー


要注意 3センチほど、厚めに
コーティングをしてくだ
さい。

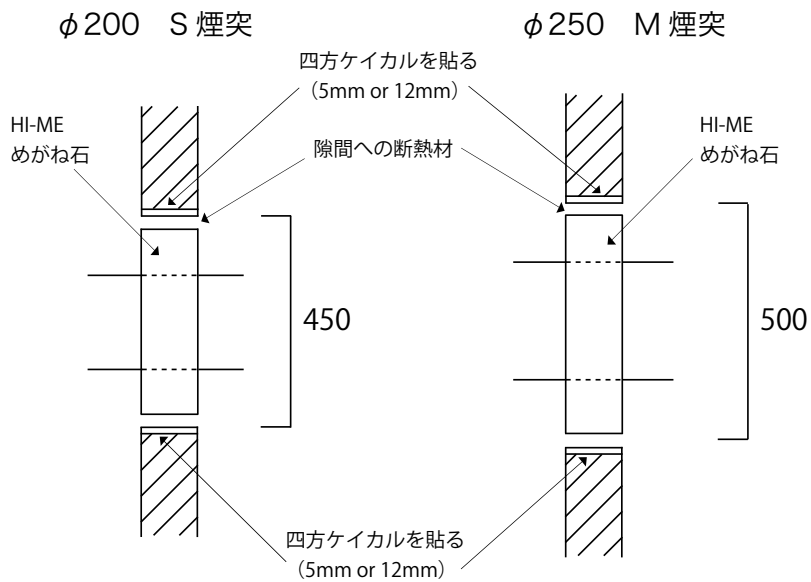


13. 屋根 貫通部分

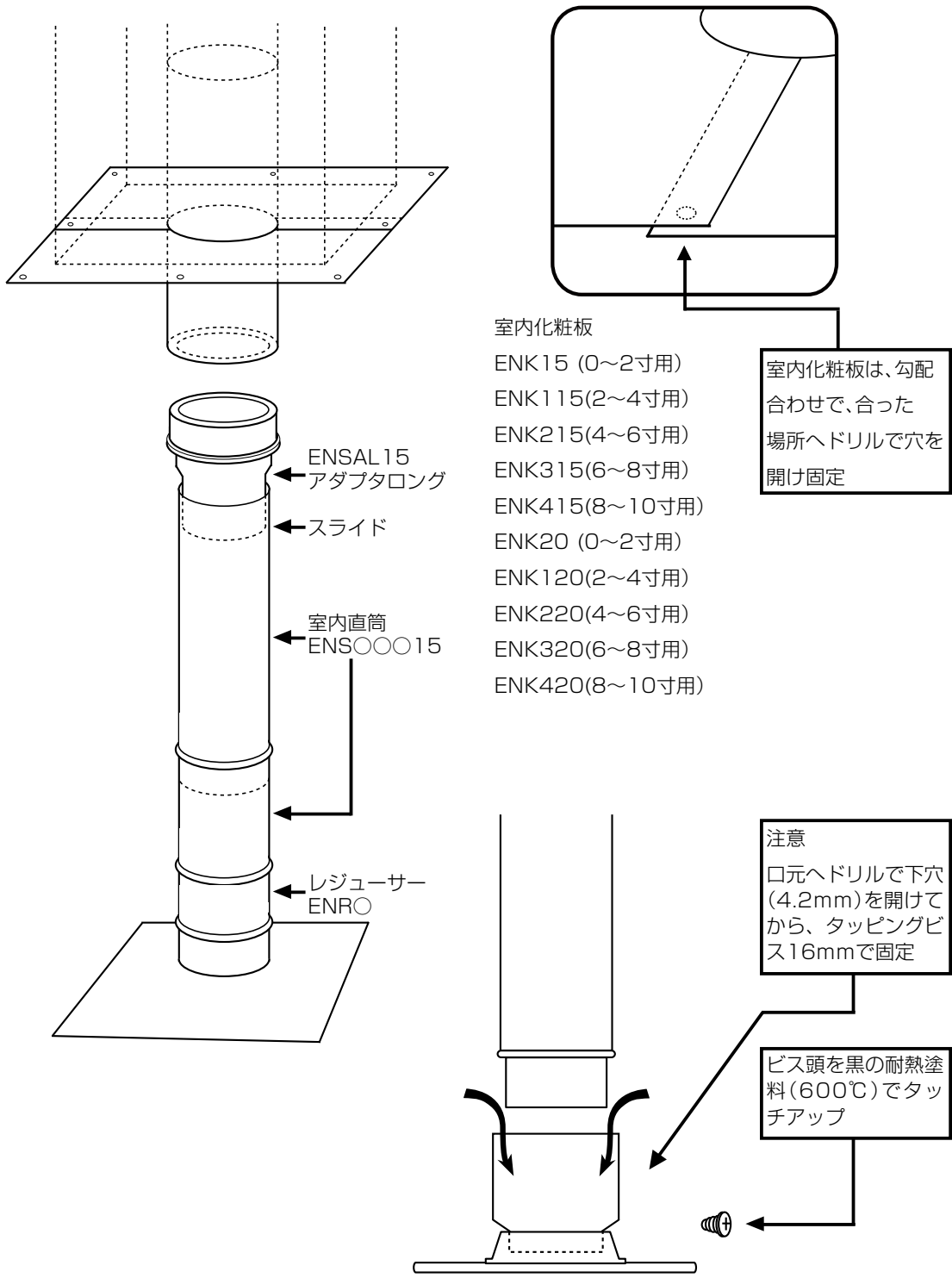
建物の貫通部分は必ず断熱煙突を使用。



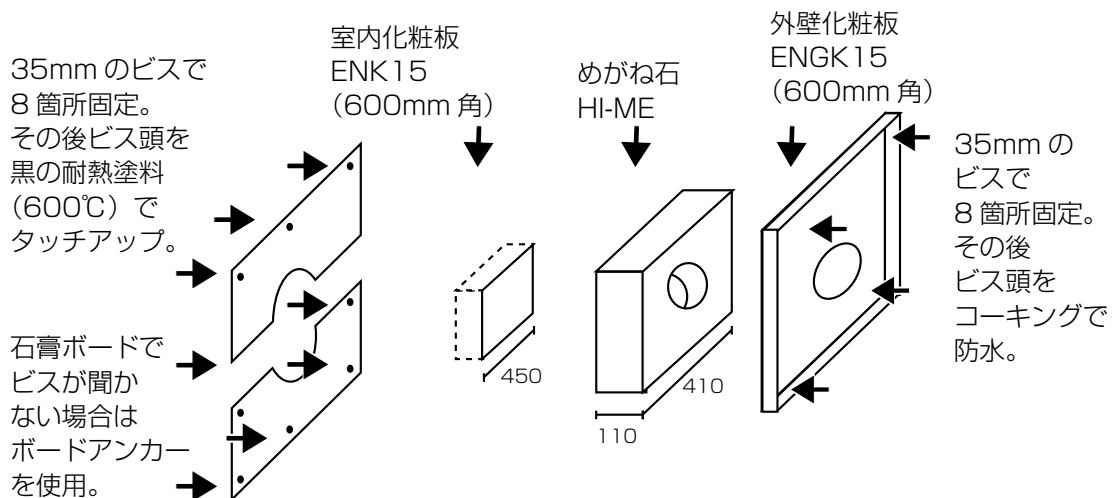
14. 壁 貫通部分



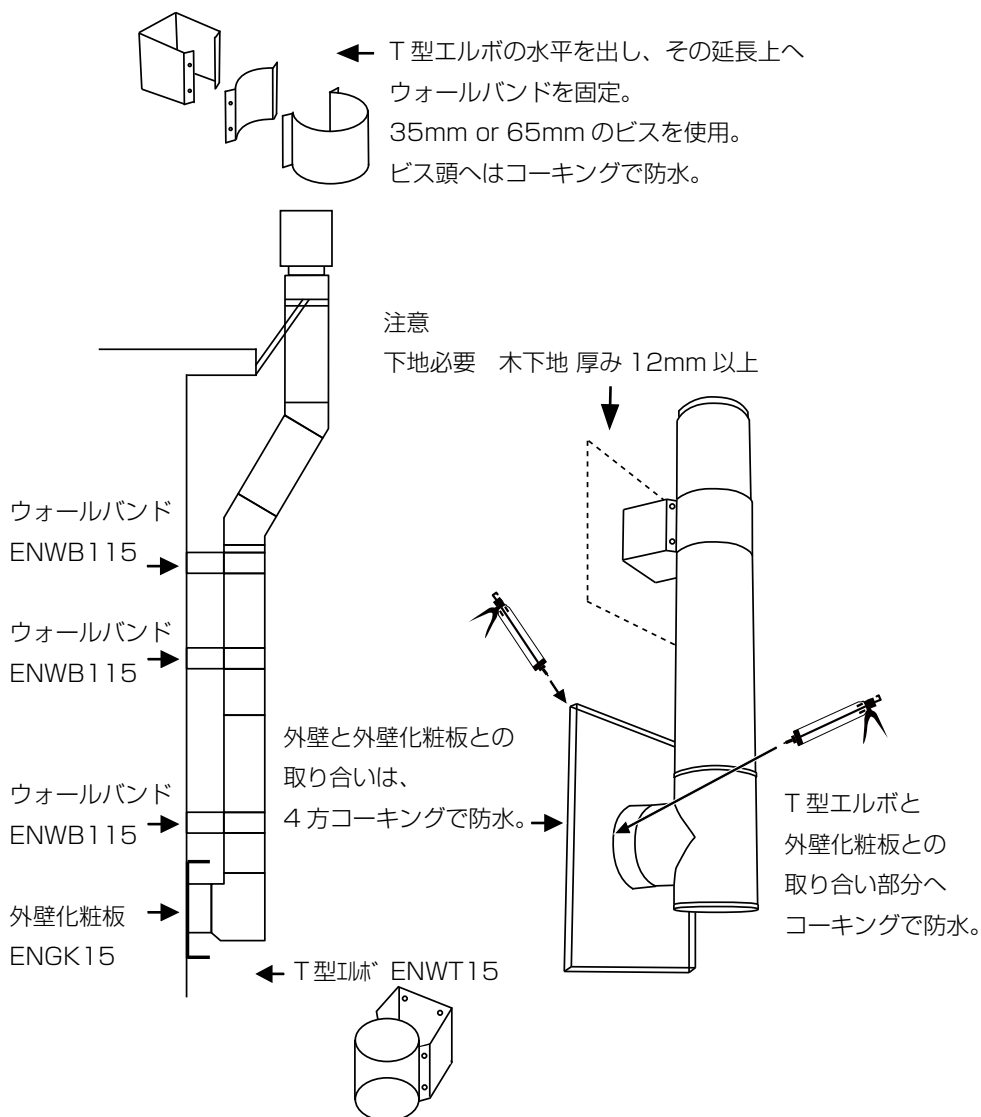
15. 室内（断熱煙突～室内煙突～ストーブ本体）



15. 室内（断熱煙突～室内煙突～ストーブ本体）

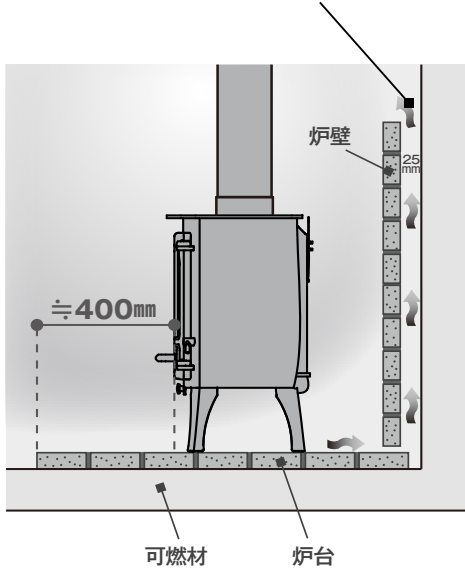


16. 壁貫通



17. イセッタクク・イソッタククの組み立て方

壁面(可燃材)と炉壁の間に25mmの空気層(隙間)を設け、空気の循環を確保し、熱を遮断します。



注意

- ストープの手前は、ストープから火種が落ち、フローリングなどをこがす恐れがありますので、手前400mmくらいは、石、タイルなどの不燃材で仕上げてください。
- 壁面のさらに奥の木地へ熱を伝えない為に必ず空気層を設け、施工してください。

壁換気工法

